



# 教育山形「さんさん」プラン

## — 少人数学級編制の推進 —



### 【趣旨】

きめ細かな指導のもと、基礎・基本を徹底するとともに、いじめ・不登校など今日的な教育課題の解決をはかることを目的として、多人数学級（34人以上）を解消する。

### 【多人数学級の現状】(H13年度策定時)

約25%

約75%

多人数学級  
学級数: 652  
(324学年)

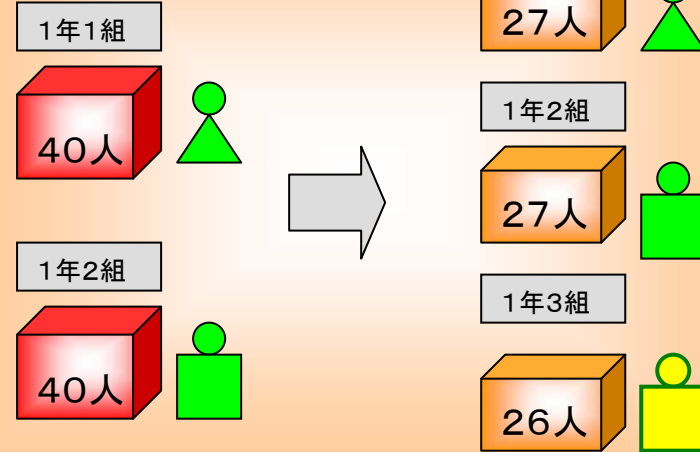
少人数学級  
学級数: 2,010

- 小学校において21人から33人の学級編制にする。
- 児童数34人以上の学級が複数ある学年に教員を配置する。
- 1学級のみのある学年については、従来の「やまびこプラン」方式の少人数授業を行う。

### 【年次計画】

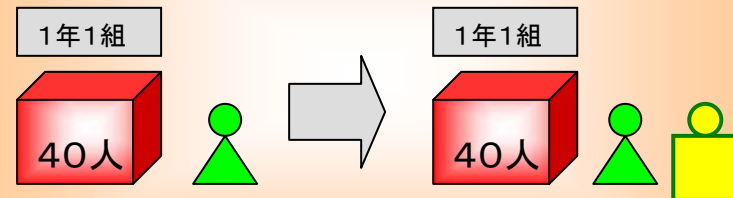
	H. 14	H. 15	H. 16
小1～3年生	93人		
小1～5年生		171人	
小1～6年生		211人	

### 【少人数学級編制】



### 【少人数授業】

ティーム・ティーチングの例



他に、小グループなど多様な学習形態が考えられる

\*教育山形「さんさん」プランは、21世紀の山形の教育が、燦々と輝く太陽のように明るく希望に満ちたものになるよう、そして、この暖かさが一人一人の子どもに伝わり、その笑顔が教室いっぱい広がるようお願いを込めてつけた愛称です。

# 教育山形「さんさん」プランの取り組み

山形県教育庁義務教育課

## 1 山形県としてとらえていること

- (1) 新学習指導要領で  
「教育内容」が整備された
- (2) 教育山形「さんさん」プランで  
「人的教育環境」が整備された
- (3) コミュニケーションを核とした取り組みで  
「教育方法」が改善された



「学級経営」と「授業」の中で実践する！

## 2 さんさんプランがめざすもの

### (1) 少人数学級編制で行うきめ細かな指導

- 深い子ども理解に基づき、集団・グループ・個に対して適切な支援・指導ができること
- 必要なときに必要な子どもに対して、必要な支援ができること  
**一体として進めてきた**

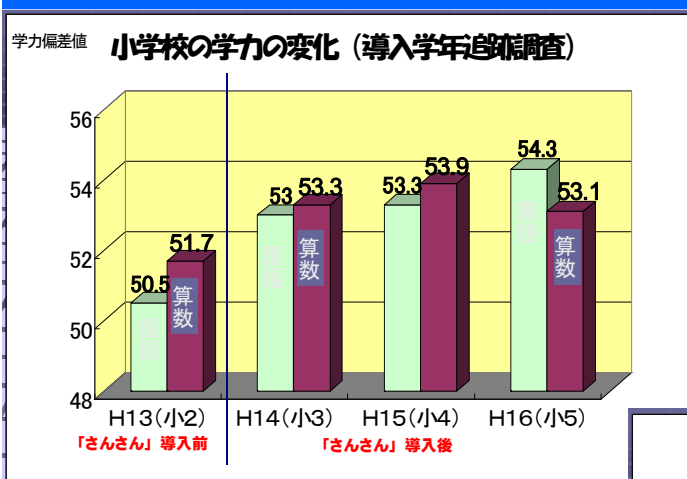
<施策>

### (2) 指導方法の工夫改善

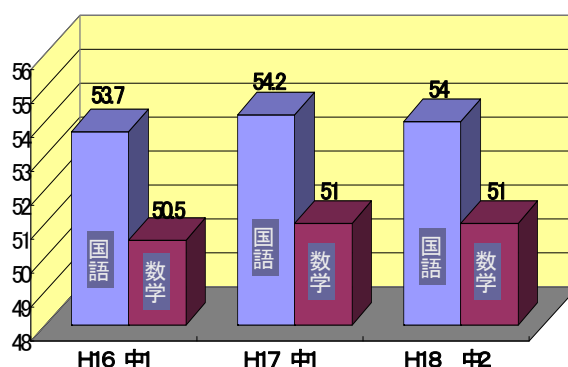
- 子ども同士が精一杯考え合い、表現し合う授業づくり
- 教師が教えたいことを、子どもが主体的に学ぶ授業づくり

<事業>

## 3 さんさんプランの成果 ①

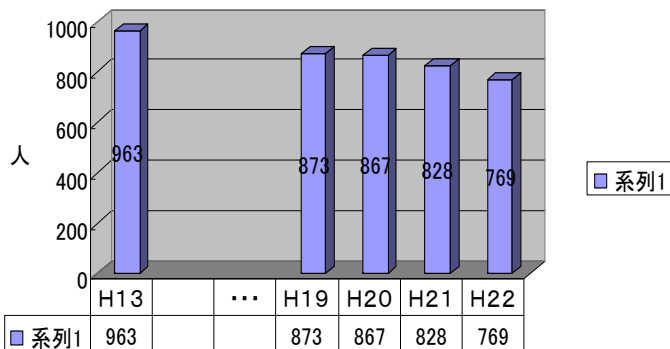


### 中学校における学力の推移

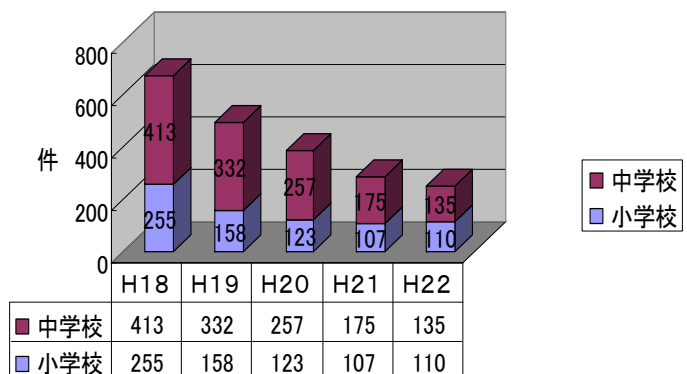


### 3 さんさんプランの成果 ②

不登校生徒数(30日以上欠席)の推移



いじめ件数年次推移



### 4 課題と今後の取組み

- (1) 900名を超す児童生徒の不登校
- (2) 校内暴力の微増  
(中学校H20→7件 H21→12件)
- (3) 発達障がいを含む、特別な支援を要する児童生徒の増加
- (4) 思考力・コミュニケーション力の向上

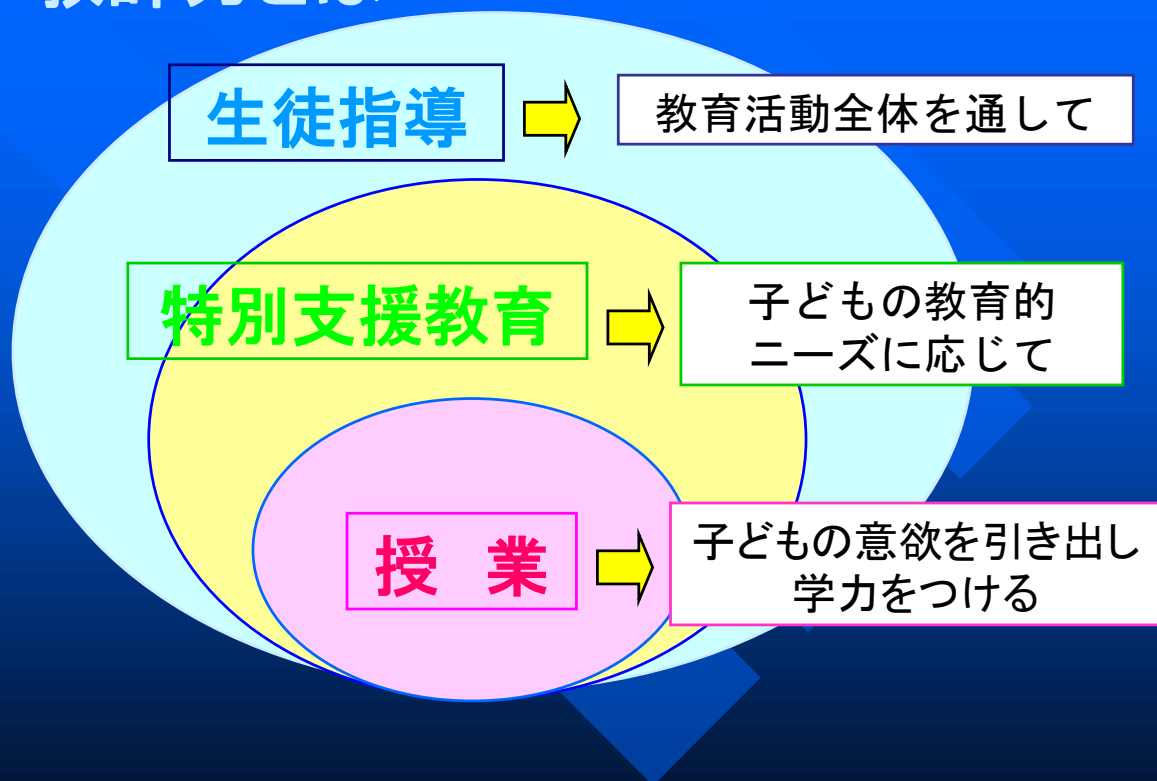
### 教師力の育成

生徒指導

特別支援教育

授業

## 5 教師力とは



「生活と学習が一体となった教育」

## 6 授業で発揮する生徒指導の力

- 一人一人のよさや興味関心を生かす
- 児童生徒が考えを交流し、互いのよさに学び合う場を工夫する
- 児童生徒が主体的に学ぶことができる課題の設定を工夫する
- 学び方について自ら選択する場を工夫する 等



生徒指導の3機能を活かす

- 自尊感情
- 共感的理解
- 自己決定

## 7 特別支援教育

- (1) 特別支援教育の知識・理解がある
- (2) 子どもの困り感に対応できる
- (3) 子どもの良さを伸ばすことができる
- (4) 自分だけで悩まずに教育相談に  
かけチームで対応することができる
- (5) 保護者と定期的に話し合いができる

# 子どもの未来に責任をもつ

10年後の社会を支えていく資質・能力を育てる

小・中一貫して

高等学校

幼稚園・保育園

一人一人の子どもの教育